

校長先生の部屋

〇ごあいさつ

茅ヶ崎市立西浜中学校 校長 佐藤 洋

学習指導要領には生徒に知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育むことを目指すに当たって、①「知識及び技能」の習得 ②「思考力、判断力、表現力等」の育成 ③「学びに向かう力、人間性等」の涵養の資質・能力の三つの柱の育成をバランス良く実現できるように示されています。

さらに、「生きる力」の育成という教育の目標が、各学校の特色を生かしたカリキュラムの編成により具体化され、一連の教育活動が、「生徒一人一人に、社会の変化に受け身で対応するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、自らの可能性を發揮し多様な他者と協働しながら、より良い社会と幸福な人生を拓き、未来の創り手となるために必要な力を育むこと」につながるようにしていくことを目指すと示されています。

コロナ禍により私たちの生活は一変しました。「予測困難でしかも急激に変わる」ことを身をもって体験したように思います。そのような状況の中、自らの生活を心身ともに前向きに進める考え方や感染拡大防止等における他者を配慮した行動が求められ、「考える力」や「人間性」の大切さを改めて知ることとなりました。

西浜中学校では、学校教育目標、「自ら学び たくましく 心豊かに 輝く西中生」の実現に向けて、重点目標、①「考える力」のある生徒 ②「学ぶ意欲」のある生徒 ③「他者とかかわる力」のある生徒の育成を目指して取り組んでいます。3つの重点目標は育成すべき資質・能力の三つの柱と一致するものです。3つの重点目標を達成し、知・徳・体の「生きる力」をバランス良く育むため、学校の特色を生かしたカリキュラム（西中カリキュラム）のもと、計画的かつ組織的な教育活動を学校教育全体を通して行い、目標達成の視点から「計画→実行→評価→改善」を行うサイクルを確立し、教育活動の質の向上を目指して教育活動を行っています。

今年度より、総合的な学習の時間を1年生から計画的に積み上げ、3年生において生徒一人一人がテーマを決めて学習に取り組む「探究学習」を本格的に実施することとしました。「学びに向かう力」をよりいっそう育むとともに、令和7年度、コミュニティー・スクール立ち上げの準備を進め、学校・地域連携カリキュラム（「社会に開かれた教育課程」）による地域、保護者の方々と力を合わせて生徒を育む学校を目指します。



(西中教育活動の全体イメージ)